

チャーリーとチョコレート工場

【出版元】Winning Moves【プレイ人数】2～4人【対象年齢】8歳以上【和訳】海長とオビ湾

コンポーネント

- ・ ゲームボード 1枚
- ・ カラートークン 6色
- ・ キャンディカード 36枚(6種類のキャンディが各6つ)
- ・ ウンパルンパディスク 12枚(横取り8枚とロック4枚)
- ・ ウォンカピース 12枚
- ・ サイコロ 1個

ゲームの目的

6種類の飴をすべて集めた上で、ボードの中央にあるガラスのエレベーターに最も早く着くことを目指しましょう。

ゲームの準備

最初にゲームをするときは、ウンパルンパディスクとウォンカピースを切り離してください。

まず、キャンディカードをプレイ人数によって調整します。

2人の場合は6種類のカードを各3枚ずつ。

3人の場合は6種類のカードを各4枚ずつ。

4人の場合は6種類のカードを各6枚ずつ。

あまったキャンディカードは使用しませんのでよけておいてください。

使用するキャンディカードは良く混ぜ、ボード上の対応する場所(カードの絵が書かれています。)に伏せた山札にしてください。

次に、各プレイヤーは自分の色を適当に決めて、その色の駒をスタートマスにおいてください。

ルール原典に記載されていませんが、ウォンカピースとウンパルンパディスクも伏せてよく混ぜ、ボードにイラストのある場所に伏せて置いてください。

プレイの手順

最も若い人がスタートプレイヤーとなってサイコロを振ります。そしてサイコロの出た目の数だけ、自分の駒をチョコレートの川上を進めま

す。これで手番が終了し、次のプレイヤーの手番となります。

【例外】キャンディを集めるためにエキサイティングルームに止まりたいときや、ウンパルンパディスクを手に入れるために止まりたいときなどは、サイコロの数字だけ進ませる必要はありません。

キャンディを集める

キャンディを集めるには InventingRoom、GreatGumMachine、NutRoom、TVRoom に入る必要があります。これらの部屋に入ったらウォンカピースの山の一番上から1枚取ってめくります。めくったウォンカピースに書かれている数字と同じ枚数だけ、キャンディカードを引いてください。(ウィリーウォンカが書かれていた場合は、1,2,3枚、もしくは好きなだけ引くことができます。)

プレイヤーは引いたカードの中から1枚だけを選んで手に入れることができます。選んだカードは自分の手元に表向きで置いていきます。

次の手番では移動をせずに部屋に留まり、更なるキャンディの獲得を目指してもよいです。

貪欲な者に罰を！

気をつけてください！もしあなたがアウガスタス(原作に出てくる太った子供)のように貪欲だと、罰がくだるかもしれません。

キャンディカードを引く際に、既に手元に持っているカードしか手に入れることができない場合は罰を受けなければなりません。

罰を受けることになったら、対応する部屋に送られてしまいます。すなわち、FudgeRoom、JuicingRoom、RubbishRoom、StretchingRoomに送られます。

これらの部屋に送られた場合、そのままでは3回休みの状態になってしまいます。しかし、毎手番に一枚だけウォンカピースを引くことができます。その内容がウィリーウォンカのイラスト

であった場合にかぎり、罰から脱出することができます。

ウィリーウォンカのイラストが出た場合は、即座にサイコロを振ってチョコレートの川へ向けて移動することができます。

ウンパルンパディスクについて

ウンパルンパディスクはチョコレートの川上にあるウンパルンパマスに止まることで、1枚手に入れることができます。ウンパルンパマスに止まったプレイヤーはウンパルンパディスクの山札の一番上を1枚取り、手番は次のプレイヤーに移ります。

ウンパルンパディスクはとても役に立ちます。
ケース：横取りディスクの場合は、誰かのキャンディカードをひとつ貰うか、誰かに自分のキャンディカードを1つあげるかすることができます。(訳者解釈:カードをあげる意味がないと思われるので、実際は取るだけだと思います。そのため、横取りディスクと訳しました。原文では「take/give disk」です。)

このディスクは即座に使用する必要はありません。

使用した横取りディスクは即座にウンパルンパディスクの山の一番下に戻してください。

ケース：ロックディスクの場合は、その名のとおり、それを自分のキャンディカードの上におくことで、他のプレイヤーからキャンディカードを横取りされることを防いでくれます。ロックディスクは自分のキャンディカードのうちのいずれか1枚の上に置きます。一度ロックディスクが置かれたら、これはゲーム中取り除かれることはありません。(訳者解釈:記載は無いですが、これもおそらく、即座に使用する必要はないと思われます。)

また、プレイヤーはウンパルンパディスクを同時に2枚以上持つことはできません。もし2つ目を持つことになった場合は、それはウンパルンパディスクの山の下の下に戻さなければなりません。(訳者解釈:ロックディスクをいったんキャンディカードに置いてしまえば、それは持っているディスクには数えられないのではないかと思います。つまり、ロック済みのキ

ャンディカードがある状態で、さらにウンパルンパディスクを持つことは許されると思われません。)

持っている状態のウンパルンパディスクは自分の手番の、しかもサイコロを振る前のみです。注意してください。

ゲームの終了

6種類のキャンディをすべて集めて、ボード中央のガラスのエレベーターに到達したプレイヤーが現れたらゲームは終了し、そのプレイヤーが勝利します。

訳者あとがき

ルール原文に非常に曖昧(適当すぎる)な箇所が多く、WinningMovesも既に取り扱っていないということで回答がないため、当方の解釈が含まれております。